

市民のうごき

(1月15日現在)

人口 257,563人

男 124,834

女 132,729

世帯数 80,855

奈良市民だより

No. 337

奈良市民憲章

奈良は日本のよさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に生かすものによきわしい自然と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は希望のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあひましょう。

奈良は清静で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、傳統と開拓のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。



志を立てて いま大人の世界へ

成人式へ二千五百人



ことし満二十歳になる新成人を招いてお祝いする市の成人式が「成人の日」の一月十五日市中央体育館で盛大に行なわれ、新成人二千五百人が参加しました。ことし奈良市で成人となる男女は昭和三十一年中に生まれた三千九百五十九人。

好天に恵まれ絶好の、成人日和。平服参加の呼びかけも空転、例年のようにあでやかに着飾った女性の晴れ着姿が目立ち、はち切れるばかりの若さにあふれる中を、受付で記念品(人生手帳、黒マツの苗木・市のパンフレットなど)をもらって式にのぞきました。

写真

「上」「志を立ててしっかりやってほしい」とあいさつする鍵田市長(中)きりりと詰めかけた新成人の若人(下)市長・近鉄球団選手を囲む新成人座談会

鍵田市長はじめ、小林市議会議長、岡田副議長、教育委員会関係者らが壇上の席について午前十時開式。君が代斉唱につづいて新成人代表辰巳賢洋さん(邑地町)と松山貴久子さん(押熊町)の二人が前に出て奈良市民憲章を大きな声で読みあげ、参加者全員が高らかに唱和しました。

鍵田市長は「成人式を迎えられておめでとう。諸君はきょうから大人としての覚悟を新たに、立派な人生を打ち立てて下さい。その覚悟とは①国家社会のために尽す②先祖や親に恩返しする③友達にうそを言わない④勇気をもつ⑤福祉の心をもつこととあります。この五つの志を今日この席で立てていただきたい。」

また奈良は歴史のある、そして魅力のある古都であり、日本民族の心が生きています。このまちで成人式を迎えられたことは意義が深い。このことを認識し、りっぱな人生をめざして打って出て下さい」と、三十分間にわたり新成人を励ました。

つづいて小林市議会議長がお祝いのことばを述べ、式典を終わりました。

このあと、昨年プロ野球、シフツリーグ後期優勝を果たした近鉄バファローズの西本監督と選手五人が鍵田市長を囲んでの座談会。参加したのは太田幸司、鈴木啓三、佐々木恭介、島本謙平、仲根正広の各選手で、特設された壇上に鍵田市長、西本監督を真ん中に各選手が席につき、NHK水越洋氏の司会で、優勝したときの感激や日常の練習のきびしさ、試合の模様、監督の素顔などつきつきに披露されました。西本監督は「私はりっぱな野球人をつくるために、りっぱな日本人をつくりたいという信念で野球選手を育てている」と語り、感銘を与えました。

また新成人の中から選手一人ひとりに質問が飛び出し「ファンレターで励まされたものにどんなのがありますか」「優勝したとき一番先にだれに知らせましたか」など選手をくすぐっていました。

このあと、市中央体育館側の土手に鍵田市長、小林市議会議長、新成人代表らといっしょに西本監督や各選手らがまじってマツの苗木を記念植樹、選手によるサイン会などが行なわれ、人気選手の前にはサイン色紙をもった多くの新成人が殺到、若さをぶちまけていました。

また、会場ロビーにはことしもふるさと電話が設置され、故郷を離れて奈良で成人を迎える男女がかかるがわる郷里の父母を呼び出し、よるこびの声を送っていました。

悔いなき人生を

勇氣と自主性をもって



藤古口芳実君 ぼくは、二十歳に
なつて
急に目
標を新
たにす
るんじ
やなくて、いままで自分が貴
いてきたことに対して、認識
を新たにしたいと思ひます。
それから、後日振り返つてみ
て後悔しないようにしてい
たいと思ひます。若いころは
間違ひもするでしょうけど、
自分の思ったことは大胆に勇
気をもってやつていきたいと
思ひます。

市長 認識を新たにしてい
ないの人生を送る、結構で
すね。わが人生に悔いがない
というのは尊いことだと思
ひます。なかなかできません
かね。しかしね、二十歳のこ
ろは悔いがあるうがなろう
が、与えられた人生を充実さ
せて全力投球でやるんだとい
うようなのはどうですか。年
とつてから、オレの人生悔い
がなかったと思へたらよい
ですね。そうならないもんで
す。



今久保美雪さん 高校出て
から二
年たつ
て、社
会人と
してが
んばつ
ているところですけどね。や
はり自分は大人であるとい
うことを自覚して、仕事にお
いても、なにごとに対しても責
任と自主性を持っていき
たいと思ひます。

市長 自主性を持つから責
任を持つんですね。自主性の

素晴らしい自然環境

評判よい「みそづくり」も

司会 つぎに、奈良市政の
ことについてなにか。

今久保さん 奈良市ではい
ろいろな市民運動を行なつて
おられますが、その中で、女
性にとつて身近に感じられる
のはみそづくりですね。ひじ
ょうに庶民的でよいことだ
と思ひます。

市長 みそづくりは続けま
すよ。
藤古口君 ぼくは毎日京都
の学校へ通つています。京都
も奈良も古都といわれている
んですけど、京都はなにかは
なやかな感じがし、奈良の方
は落ち着いた感じがするん
です。西部の方はだいぶベッ
ドタウン化して開発されてい
ますけど、保存されるべき場所
はいつまでも昔のふん囲氣を
持ち続けてほしい。緑化運動
はその一環になると思ひます
が、これはずっと続けてほし
いですね。

広芝さん この間、新聞に
市政に
ついて
の世論
調査の
結果が
のつて



奈良を大切に 氣宇を壮大にして 世界に尽す人間に

山村君 奈良も都市化して
きて、コンクリートとアスフ

とつてね。元氣があり過ぎ
たのかな。(笑) いや、無茶
だったかも知れないね。しか
し、その時はそれなりの考
えを持ってやったつもりで
す。大の土になつて、アジア
のためにつくすんだという
氣持でやってました。

二十歳の時より皆さんの方が
しっかりしているね。ぼく
も、いまでこそ人生のことが
だいたいわかるようになり
ました。だいたい間違ひなし
にやれるようになりました。
ただ、それまではいろいろ
なこと頭をぶつつけてね。
ぼくは十七歳の時、馬賊にな
ろうと思つて中国へ飛び出
し、飛び込んで、真剣に修行し
ようというところになつたわけ

市長 奈良は自然環境では
日本一だそうなんです。市民一
あたりの都市公園の広さでは
世界で二番目ですよ。社会的
環境では十分でないところも
あるでしょうけれどね。

奈良市においては同和対
策事業特別措置法の施行に
より、同和対策長期総合計
画を策定し、逐次対策事業
が進められています。その
主なものには隣保館および公
営住宅の建設、地区改良事
業、保育所の設置、教育の
充実等々であります。これ
らの事業を実施することに
より、同和地区の生活環境
等の安定向上を図り、差別
の完全解消を目ざして鋭意
努力が続けられています。
今回はその中の隣保館につ
いてそのあらましをのべて
見ましよう。

同和対策審議会の答申に
よれば、今後の社会福祉の
具体的方策の一つとして
「既設の隣保館、公民館、
集会所などを、総合的見地
に立つて拡充し、その施設
のない地区には新設して、
欧米諸国に見られるコミュニ
ティセンターのごとき総合
的機能をもつ社会施設を

市長 その通りです。人間
は土からはなれるといかん。
土は正直でしょう。種をま
いて育てなければ実ばみのら
ない。土は最も大事なもので、
絶対まいったといわんとい
う氣持を持ってやった。国家
のために命を捨てたんだ、そ
れが一番幸せな道なんだと、
そんなことを考へておつた。
けれど、自分の人生に悔い
を残さないという考へ方にお
いては未熟だったように思ひ
ます。

奈良市には生まれつた
ところがあるんです。
奈良へ来て、とくに前に住ん
でいたところと比較します
てほしいですね。
奈良市には生まれつた
ところがあるんです。
奈良へ来て、とくに前に住ん
でいたところと比較します
てほしいですね。



奈良市には生まれつた
ところがあるんです。
奈良へ来て、とくに前に住ん
でいたところと比較します
てほしいですね。

奈良市には生まれつた
ところがあるんです。
奈良へ来て、とくに前に住ん
でいたところと比較します
てほしいですね。

奈良市には生まれつた
ところがあるんです。
奈良へ来て、とくに前に住ん
でいたところと比較します
てほしいですね。

同和問題を考える

隣保館 (その一)

にわたり、シカゴの「ハル
ハウス」となり、貧民街の
救済としてはじめられまし
て救済しようとした。
大正八年ごろから各地の同
和地区に隣保館がつけられ
ました。しかしこれは部落
の貧困や文化的な低位性が、
長い歴史の中で差別に起
因するものであるというこ
とを考へようとはせず、部
落の人々への同情とあわれ

と、地域社会のつながりとい
うか、人間と人間のつながり
が強いような印象を受けて、
いいなあと思っています。
それから姉妹都市との交流
ですが、それが一部の人で終
わらないで、もっと深いもの
市民全体のものになればよい
と思ひます。

市長 これからは、歓迎市
民大会なんかにはぜひみなさ
ん出て下さいよ。
芝田君 ぼくは日本に生ま
れて一番よかった、とくに奈
良に生まれ育つて、奈良で働
けてよかった、これからは奈
良で住みたいと思つていま
す。そういう考へ方の原点
は、日本のふる里は奈良であ
り、また、歴史の上からで
も、環境の点からでも、日本
に残っている最も日本くさい

隣保館はこのように社会
福祉施設としての位置づけ
がなされてきましたが、こ
れでは行政の恩恵的な面
のみが強く、行政の責務と
して積極的に部落を解放し
ていくという姿勢は現れて
いません。今後は隣保館は
部落解放のための地域の
「拠点」として福祉の向上に
力をそそぐとともに、さら
に部落の完全解放は国の責
務であり、国民的課題であ
るとの認識に立つて、解放
のための諸事業を早急に進
めていかねばなりません。
総合的なコミュニティセン
ターとしての運営が最も大
切であります。

同和地区における隣保館
の使命は、まず第一に部落
のためにこのような事業を行
なうということをはっきりと
示さないと、公民館などと区
別もつかない、訳のわから
ぬものになってしまうこと
は明らかであります。次回
は奈良市の隣保館条例につ
いて述べることにします。

同和地区における隣保館
の使命は、まず第一に部落
のためにこのような事業を行
なうということをはっきりと
示さないと、公民館などと区
別もつかない、訳のわから
ぬものになってしまうこと
は明らかであります。次回
は奈良市の隣保館条例につ
いて述べることにします。

同和地区における隣保館
の使命は、まず第一に部落
のためにこのような事業を行
なうということをはっきりと
示さないと、公民館などと区
別もつかない、訳のわから
ぬものになってしまうこと
は明らかであります。次回
は奈良市の隣保館条例につ
いて述べることにします。

質問とその答え

生活環境

◇あなたは奈良市に住んで「よかったです」とお思いですか。

1.よかったと思う	74.3%
2.よかったと思わない	3.9
3.どちらともいえない	19.6
4.わからない	1.6
5.答えない	0.6
計	100.0

◇(前問で「よかったと思う」と答えた人に)どういうことから、そうお思いになりますか。(3つ選択)

1.自然環境がよい	80.5% (27.1%)
2.公害が少ない	51.8 (17.5)
3.災害が少ない	43.0 (14.5)
4.古社寺・史跡・名勝が多い	47.8 (16.1)
5.交通が便利	20.2 (6.8)
6.子どもの教育によい	10.8 (3.7)
7.人情がよい	3.3 (1.1)
8.物価が安い	0.0 (0.0)
9.買物に便利	3.7 (1.3)
10.市政がよい	8.3 (2.8)
11.住みなれたから	25.6 (8.6)
12.その他	1.2 (0.4)
13.答えない	0.2 (0.1)
計	296.4(100.0)

◇(第2問で「よかったと思わない」と答えた人に)どういうことから、そうお思いになりますか。(3つ選択)

1.環境がよくない	20.0%(7.9%)
2.公害が多い	4.0 (1.6)
3.古社寺・史跡・名勝がありすぎる	0.0 (0.0)
4.交通が不便	28.0 (11.1)
5.子どもの教育に悪い	12.0 (4.8)
6.人間関係がよくない	24.0 (9.5)
7.物価が高い	56.0 (22.2)
8.買物に不便	44.0 (17.5)
9.市政への不満	24.0 (9.5)
10.いろいろな法律上の制約(古都保存法・風致地区など)が多すぎる	20.0 (7.9)
11.その他	16.0 (6.4)
12.答えない	4.0 (1.6)
計	252.0 (100.0)

福祉天国のまちづくり

◇あなたは奈良市が国の身体障害者福祉モデル都市になっていることを、ご存知ですか。

1.知っている	44.1%
2.知らない	54.4
3.答えない	1.5
計	100.0

◇奈良市では福祉天国のまちづくりの一環として、老人福祉についていろいろの事業を行なっています。ご存知のものをあげて下さい。(複数回答)

1.老春の家	73.3% (15.0%)
2.結婚祝賀会	39.1 (8.0)
3.老春手帳	77.3 (15.8)
4.老人医療費の無料化	86.7 (17.7)
5.ねたきり老人慰問	41.4 (8.5)

6.一人ぐらし老人家庭への友愛訪問	29.8 (6.1)
7.一人ぐらし老人家庭への福祉電話の設置	36.8 (7.5)
8.高齢者慰問	33.4 (6.8)
9.万年青年大行進	30.6 (6.2)
10.万年青年大会	16.4 (3.3)
11.老春大学	19.6 (4.0)
12.答えない	5.3 (1.1)
計	489.7 (100.0)

◇身体障害者福祉事業についてご存知のものをあげて下さい。(複数回答)

1.みどりの家	47.8% (16.6%)
2.盲人用信号機	55.2 (19.2)
3.有朋手帳	27.4 (9.5)
4.愛語手帳	18.2 (6.3)
5.身体障害者運動会	36.9 (12.9)
6.点字市民だより	8.2 (2.9)
7.声の図書館	13.9 (4.8)
8.在宅重度身体障害者訪問診断	7.9 (2.7)
9.身体障害者専用便所	19.5 (6.8)
10.道路の段差改良工事	38.5 (13.4)
11.答えない	14.1 (4.9)
計	287.6 (100.0)

◇市が行なっている福祉行政のうち老人・身体障害者福祉事業について、今後一層充実してほしいことはどれですか。(2つ選択)

1.老春の家	20.6% (10.2%)
2.みどりの家	12.4 (6.1)
3.老春手帳	16.7 (8.3)
4.有朋手帳	4.2 (2.1)
5.愛語手帳	2.9 (1.5)
6.老人医療費の無料化	48.8 (24.2)
7.一人ぐらし老人家庭への友愛訪問	28.7 (14.3)
8.一人ぐらし老人家庭への福祉電話の設置	19.3 (9.6)
9.在宅重度身体障害者訪問診断	26.6 (13.2)
10.身体障害者運動会	5.3 (2.6)
11.わからない	11.1 (5.5)
12.答えない	4.8 (2.4)
計	201.4 (100.0)

武道

◇あなたは剣道や柔道、なぎなたなどの武道に関心がありますか。

1.非常に関心がある	6.5%
2.関心がある	30.0
3.あまり関心がない	48.1
4.まったく関心がない	13.9
5.答えない	1.5
計	100.0

◇市では中央武道場をはじめ各中学校に武道場を建設し、市民のみなさんや青少年に心身の鍛錬の場として、広く利用をしてもらっていますが、お宅では(あなたも含めて)これらの武道場を利用されたことがありますか。

1.利用したことがある	5.9%
2.利用したことがない	91.5
3.答えない	2.6
計	100.0

奈良市は「求道もって真に幸せなる文化のまち奈良を建設せん」を基本方針として、その市政をすすめています。そして、これらの施策は「すべて市民本位」に行なうため、つねに市民の声を反映するよう心がけ、昭和四十二年から市政懇談会を地域ごとに開くほか市民相談室を常設するなど、あらゆる機会と場を設けて

公聴活動を行なうと同時に、「市政についての世論調査」を毎年実施しています。この世論調査は公聴活動の最も有力な柱となるもので、調査に示された市民の声は、市政推進の重要な資料として役立っています。

世論調査は、最も科学的な方法によるサンプル調査で、ランダムに選ばれた少数のサンプルを調べることで、市民全体の意識を知ることができるとされています。今回の調査は昭和五十年年度の諸施策について市民みなさんの反応を調べたもので、全調査十項目・三十二問から成っており、調査の結果の要旨はつぎのようになっています。

奈良 住みよい 74・3%

八割が「自然環境がよい」

生活環境

奈良の住み心地 「日本一住みよいまちづくり」をめざして市政を進めているが、住民は、はたしてその生活環境をどのように受け取っているだろうか。そこで「奈良市に住んで、よかったです」と思うか、どうかという質問をしてみました。

その結果は、全体の74・3%が「よかったです」と答えて「よかったですと思わない」は

8%、「災害が少ない」43・0%とつづき、いずれも他都市に見られぬ自然的条件の優位性を挙げています。これは性別、居住年数別、地域別でもほとんど同じ傾向で、とくに北部・西部両地域では自然環境を挙げる率が他地域より目立って多く、同時に北部地域では「災害が少ない」が自然環境と同率(90・9%)と

なっているのが目を引く。これは平城ニュータウンの都市づくりの近代化を物語る一面でもあり、これに対し「住んでよかったですと思わない」と答えた人(3・9%)が挙げた理由は「物価が高い」56・0%を筆頭に「買物に不便」44・0%、「交通が不便」28・0%、「人間関係がよくない」24・0%となっています。「住みよい」理由の上位が主として自然的条件であるのに対し、「住みよくない」理由がおもに社会的条件となっているのは興味ある対照といえます。

公民館設置について「知っている」と答えた人は66・8%で、市民三人のうち二人の割合で知っていることがわかりました。「知らない」と答えた人は31・8%で、東部・南部両地域では「知っている」人がほぼ80%と高く、北部地域の33・3%が最低。これは平城ニュータウンが造成過程にあるので、公民館活動自体がなお浸透していないためと

「自治会活動」(53・1%)に対し、女性の「婦人会活動」(38・9%)がいずれも

男性(44・4%)の方が利用希望が多く、年齢別では三十代の51・7%をトップに二十代47・3%、四十代27・9%、六十歳以上21・1%、五十代18・7%の順となり、二十、三十代が飛び抜けて積極的です。

中央体育館の利用 そこで近畿有数の体育館として完成した中央体育館がこの三年余りの間にどの程度の人に利用されたかを調べてみました。「利用(参加)した」と答えた人は19・6%で、これは地域の相対的な開きがあり、その結果は「非常に関心がある」7・1%、「関心がある」39・0%で、合わせ

居住地域別では、東部地域に「住みよい」とする人が多く81・5%を占め、ついで旧市内78・8%、西部地域76・4%、南部地域75・0%、北部地域61・1%、中部地域59・3%の順となっています。

示しています。

「住みよくない」理由が

「物価が高い」56・0%を筆頭に「買物に不便」44・0%、「交通が不便」28・0%、「人間関係がよくない」24・0%となっています。

「住みよくない」理由が

「利用(参加)した」と答えた

内、西部、北部の順に低くなっています。

公民館利用3割

男性—自治会活動
女性—婦人会活動

地区公民館の認知度 市では、生涯教育のまちづくりをめぐり、中学校区ごとに地区公民館の新設をすすめる、十一中学校区中、すでに九館を実現しましたが、このことをどの程度知っているか、さらにこれら公民館の利用傾向はどうかについて調べてみました。

そこで、公民館を利用した人に、その利用内容をきいてみました。何といっても、一ばんに多いのは「自治会活動」の31・8%で、ついで、「公民館活動」26・5%、「婦人会活動」25・4%の順になっています。このうち男性の「自治会活動」(53・1%)

「利用(参加)した」と答えた

生涯教育のまちづくり

地区公民館の認知度 市では、生涯教育のまちづくりをめぐり、中学校区ごとに地区公民館の新設をすすめる、十一中学校区中、すでに九館を実現しましたが、このことをどの程度知っているか、さらにこれら公民館の利用傾向はどうかについて調べてみました。

そこで、公民館を利用した人に、その利用内容をきいてみました。何といっても、一ばんに多いのは「自治会活動」の31・8%で、ついで、「公民館活動」26・5%、「婦人会活動」25・4%の順になっています。このうち男性の「自治会活動」(53・1%)

「利用(参加)した」と答えた

地域の分類

調査結果の分析の必要上、調査は全市域を六つに分類して行ないました。これは地域の特性、住民の職業、生活環境など共通性の濃い意識の分析に役立てるもので、つぎの地区から成っています。地域間のサンプルの比重は変わりません。

- 【旧市内】榎井・飛鳥・鼓阪・済美・佐保(一部)・大宮(一部)
- 【東部地域】精華・田原・大柳生・柳生・東里・狭川
- 【南部地域】東市・帯解・明治・辰市
- 【中部地域】大安寺・都跡(一部)・佐保(一部)・大宮(一部)
- 【北部地域】平城ニュータウン
- 【西部地域】伏見・西大寺
- 北・あやめ池南・あやめ池北・学園南・学園北・富雄南・富雄北・部跡(一部)・平城

市民のこゝろ

市政について

質問とその答え

生涯教育のまちづくり

◇市民の生涯教育の場として市内中学校区単位に地区公民館を新設(現在9館)、または、新設されつつありますが、あなたはこのような公民館のあることをご存知ですか。

1.知っている	66.8%
2.知らない	31.8
3.答えない	1.4
計	100.0

◇あなたは今までに公民館を利用したり、公民館活動に参加されたことがありますか。

1.利用(参加)した	29.2%
2.利用(参加)したことがない	69.6
3.答えない	1.2
計	100.0

◇(前問で「利用(参加)した」と答えた人に)それでは、どのようなことで利用(参加)されましたか。(複数回答)

1.公民館活動	26.5%	(17.3%)
2.自治会活動	31.8	(20.8)
3.婦人会活動	25.4	(16.6)
4.子ども会活動	15.3	(10.0)
5.青少年活動	6.3	(4.2)
6.万年青年クラブ活動	4.2	(2.8)
7.PTA活動	20.1	(13.1)
8.その他	22.2	(14.5)
9.答えない	1.1	(0.7)
計	152.9	(100.0)

スポーツ施設の充実したまちづくり

◇あなたはスポーツ(見たり、したりすること)に関心をお持ちですか。

1.非常に関心がある	16.1%
2.関心がある	51.8
3.あまり関心がない	23.0
4.関心がない	6.0
5.わからない	2.0
6.答えない	1.1
計	100.0

◇市では柏木公園を建設中ですが、あなたはこのようなスポーツ施設などを利用したいとお考えですか。

1.おおいに利用したい	11.5%
2.利用したい	24.4
3.いまのところわからない	48.2
4.利用しない	13.6
5.答えない	2.3
計	100.0

◇鴻の池運動公園内にある市中央体育館を利用したり、何かの行事で参加されたことがありますか。

1.利用(参加)した	19.6%
2.利用(参加)したことがない	78.7
3.答えない	1.7
計	100.0

◇市が行なっているスポーツ行政のうち今後一層充実してほしい施設はどれですか。(2つ選択)

1.野球場	13.4%	(8.1%)
2.陸上競技場	7.7	(4.6)
3.プール	35.2	(21.2)
4.コート(テニス・バレーボール)	13.6	(8.2)
5.中央体育館	10.5	(6.3)

6.武道場	6.7	(4.0)
7.相撲場	1.5	(0.9)
8.弓道場(洋弓を含む)	1.4	(0.8)
9.野外活動施設(キャンプ場・ハイキングコース・サイクリングコース)	49.6	(29.8)
10.その他	3.3	(1.9)
11.わからない	20.4	(12.3)
12.答えない	3.1	(1.9)
計	166.4	(100.0)

植樹百万本10カ年計画の推進

◇市では昨年度より緑いっばいのまちづくりとして、植樹百万本10カ年計画をたて実施していますが、あなたは、このような緑化運動を推進していることをご存知ですか。

1.知っている	60.6%
2.知らない	38.3
3.答えない	1.1
計	100.0

◇あなたは、市が昨年度より緑化運動推進のため、市民の希望者や団体に申し込み順に無料で苗木を配布していることをご存知ですか。

1.知っている	41.0%
2.知らない	58.0
3.答えない	1.0
計	100.0

◇それでは、あなたは市が行なっている苗木の無料配布を利用して、自宅などに木を植えたいとお考えですか。

1.思う	76.4%
2.思わない	20.2
3.答えない	3.4
計	100.0

◇ところで、市では昨年、公園緑地課を新設し、緑化運動に力を入れていますが、この運動を一層推進するには、今後どのようにすればよいと思いませんか。(3つ選択)

1.市の木・市の花を決める	29.1%	(11.4%)
2.「植樹の日」「植樹週間」を設ける	22.4	(8.8)
3.苗木の無料配布	59.8	(23.4)

4.「植樹相談カー」の出張相談・技術指導など	28.3	(11.1)
5.家庭向けに植樹パンフレットの作成と配布	46.5	(18.2)
6.誕生記念など、いろいろの記念植樹の奨励	29.8	(11.7)
7.植樹モデル地区を設ける	24.4	(9.6)
8.その他	3.1	(1.2)
9.わからない	9.7	(3.8)
10.答えない	2.2	(0.8)
計	255.3	(100.0)

◇奈良市では姉妹都市関係などを提携している外国の相手都市の森(「西安の森」鴻の池運動公園・「慶州の森」柏木公園・「トledoの森」二名町地内の予定)の建設を進めていますが、あなたは、このような森に関心がありますか。

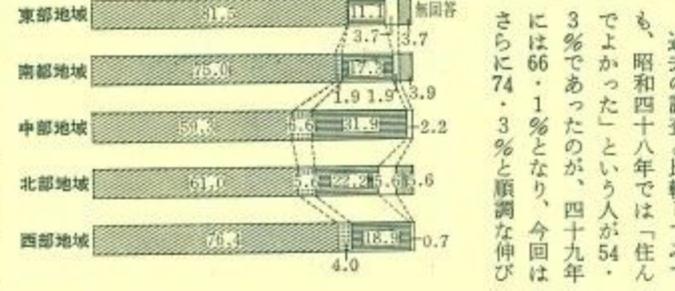
1.非常に関心がある	7.1%
2.関心がある	39.0
3.あまり関心がない	45.6
4.まったく関心がない	5.4
5.答えない	2.9
計	100.0

調査方法
調査は全市選挙権者名簿から、層化二段無作為抽出法により、調査対象となる人(サンプル)千人を選び、その個々に調査票を郵送・回収する方法で7%でした。

調査の
調査は、調査担当で行ないました。調査担当機関は朝日日本マーケティング・エージェンシーで、調査時期は五十年九月十日～九月二十五日。

回収された有効調査票は
六百四十七で回収率は64.7%でした。

え「よかったです」と思わない」はわずかに3.9%で、市民の四分の三は「奈良に住んでよかったです」としています。これは男性の72.0%、女性の76.5%とあまり差はないが、年齢別では二十代が60.5%、30代が72.3%、40代が78.2%、50代が79.1%、60歳以上84.6%と年齢層に応じて多くなっています。この傾向は居住年数別でも同じで、奈良に住んで七年までの人で60%台なのに対し、二十六年以上になると84%と高率を示し、逆に「よかったですと思わない」人は四十八年の12.8%から四十九年1.6%と激減、今回は3.9%に微増したものの、減少傾向は変わっていません。



福祉天国のまちづくり
身障者福祉モデル都市 奈良市は昭和四十九年に身体障害者福祉モデル都市に指定されましたが、市民はこれをどの程度知っているかを聞いてみました。

その結果、「知っている」が44.1%、「知らない」が54.4%で、知らない人の方が多かった。男女別では男性(44.1%)と女性(44.0%)がほぼ同じで、年齢別では二十代の35.7%を最低に五十代の52.7%を最高に三十代、四十代、六十代の順、また居住年数の多いほどよく知っているという傾向を示しました。

福祉事業の内容 ついで、市の行なっている福祉事業の内容を挙げて、その一つ一つについての認知度を調べてみました。その結果、老人福祉事業(十項目)については四八・四%、身体障害者福祉事業(十項目)については二七・三・五%の回答を得ました。

老人福祉事業で「ばんよく知られてきたのは「老人医療」が6.8%、「古社寺・史跡・名勝が多い」47.6%など、総じて老人福祉関係が上位を占めました。

スポーツ施設の充実したまちづくり
奈良市には中央体育館をはじめ各種のスポーツ施設が、つぎに建設されていますが、これをさらに充実させる手がかりの一つとして、市民の意識調査をかねてこの調査を行いました。

スポーツへの関心 まず市民がスポーツに向けての関心度を聞いてみました。その結果、当事者としてまた第三者として「非常に関心がある」と答えた人が16.1%、「普通に関心がある」というのが51.8%で、七割近くの人が多少にかかわらず関心があることがわかりました。

緑化計画への関心
六割が苗木の無料配布望む
は60.6%、「知らない」38.3%となり、市民運動としての「植樹百万本運動」を「知っている」(58.9%)とほぼ同数という傾向が出ました。年齢別では四十代(72.1%)を頂点に六十歳以上、五十代と高年齢層が高く、三十代、二十代と年齢に応じて低くなっていきます。また地域別では東部(85.2%)が目立って高く、南部、中部、旧市

植樹百万本十年計画の推進
市民運動推進と並行して植樹百万本十年計画をたて、事業を進めています。まず、このことについて市民がどの程度知っているかを調べました。その結果、植樹百万本計画を「知っている」と答えた人が

以下6の面へ
つづく

身障者文筆にも高まる

公民館の利用 ついで、公民館利用の有無について聞いて

「38.9%」が「利用したい」という積極的希望が11.5%で、市民の35.9%が「利用したい」という態度を示しました。

最後に、市が行なうスポーツ行政のうち今後一層充実してほしい施設を二つずつあげてもらいました。その結果、一番に望まれるものは「野外活動施設」で、半数近い49.6%の人がこれを挙げました。

関心度は男性(51.1%)が女性(41.4%)より高く、年齢別では六十歳以上(49.1%)に高く、地域別では西部地域(50.5%)に高く中部、旧市内、東部、北部、南部の順となっていました。

市民の「こえ」をきく

「清掃運動」へ87・3%

「一ばんよく知られて いる」

「ごくろうさん 運動」

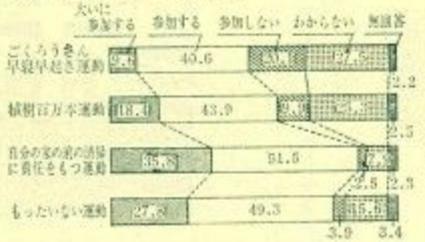
つづき

「清掃運動」市では、市民参加のまちづくり運動として、四つの運動を展開しています。これが市民の間どの程度浸透しているかを調べてみました。その結果、運動開始六年を迎える「ごくろうさん・早寝早起き運動」が賞賛を受けて83・3%の人がその名を挙げ、トップにいます。この運動については、四十七年調査で61・0%、四十九年調査で76・9%であったのから見ると、年

市民参加によるまちづくり

四つの運動 市では、市民参加のまちづくり運動として、四つの運動を展開しています。これが市民の間どの程度浸透しているかを調べてみました。その結果、運動開始六年を迎える「ごくろうさん・早寝早起き運動」が賞賛を受けて83・3%の人がその名を挙げ、トップにいます。この運動については、四十七年調査で61・0%、四十九年調査で76・9%であったのから見ると、年

【市民運動への参加意向】



「ごくに浸透していることがわかります。その他は「植樹百万本運動」(58・9%)、「自分の家の前の清掃に責任を持つ運動」(35・5%)、「もったいない運動」(35・4%)の順でどの運動も知らないという人は全体の4・0%に過ぎないことがわかりました。運動に参加の意思、そこでこれらの運動を知る、知らない

自然食品の普及

「みそづくり」への関心 市では去る四十六年から自然食品普及の一環として、みそづくり講習会を開いていますが、市民はこれをどの程度知っているかを聞いてみました。

「みそづくり」浸透 91・7%

四十代主婦 46%が参加

「みそづくり」への関心 市では去る四十六年から自然食品普及の一環として、みそづくり講習会を開いていますが、市民はこれをどの程度知っているかを聞いてみました。これは、さすがによく浸透し、91・7%の人が知っており、四十九年調査時の82・5%をはるかに上回り、「知らない」はわずかに8・0%に過ぎませんでした。やはり女性の方がよく知り94・9%と高率ですが、男性でも88・1%と驚くほどの周知度を示しました。男性二十代が一ばん低かったが、それでも76・0%、三十・四十代は88%台、五十歳以上は93%を上回り、女性になると各年代とも90%以上で、とくに四十代は98・6%と最高の率。

いにかかわらず、参加する意思があるかどうかについて調べた結果、参加意思の一ばん多かったのは「自分の家の前の清掃に責任を持つ運動」で87・3%（おおいに参加35・

8%、参加51・5%）の高率を示しました。つづいて「もったいない運動」77・1%、「植樹百万本運動」62・3%、「ごくろうさん・早寝早起き運動」50・2%の順となり、「知っている」ということと「参加する」ということは必ずしも平行しないことがわかりました。

市民参加といひ、市民運動といひても、まず市民一人一人に身近な具体的なテーマほど関心が強く、地域に結びつき強いものに参加意思が傾くことを物語っているようです。

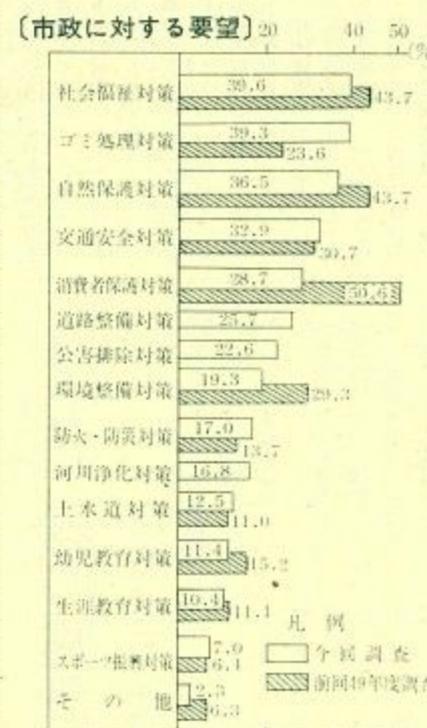
まず市政に望む

社会福祉

ゴミ処理

自然保護

日本一住みよいまちづくり 日本一火事の少ないまち 奈良を日本一住みよいまちにする一環として「消火器を使わない消防」予防消防を推進し、その結果、全国同規模都市で六年連続して日本一火事の少ないまちの記録を保ってききました。市民がこの事実をどの程度知っているかを



市政に対する要望 最後により住みよいまちづくりのために市民は市にどのような施策を望んでいるかを、十項目のうち四項目のうちそれぞれ三つを選ん

質問とその答え

市民参加によるまちづくり

市では市民参加によるまちづくり運動として、4つの運動を行なっていますが、あなたはこの運動をご存知ですか。(複数回答)

- 1. ごくろうさん・早寝早起き運動 83.3% (37.2%)
- 2. 植樹百万本運動 58.9 (26.3)
- 3. 自分の家の前の清掃に責任をもつ運動 35.5 (15.9)
- 4. もったいない運動(ムダ排除、廃物活用など) 35.4 (15.8)
- 5. どれも知らない 9.0 (4.0)
- 6. 答えない 1.7 (0.8)
- 計 223.8 (100.0)

あなたは、市民運動である次の運動に参加の意思がありますか。(前問で「知っている」「知らない」にかかわらずお答え下さい)

- (1) ごくろうさん・早寝早起き運動
 - 1. おおいに参加する 9.6%
 - 2. 参加する 40.6
 - 3. 参加しない 20.1
 - 4. わからない 27.5
 - 5. 答えない 2.2
 - 計 100.0
- (2) 植樹百万本運動
 - 1. おおいに参加する 18.4%
 - 2. 参加する 43.9
 - 3. 参加しない 9.9
 - 4. わからない 25.3
 - 5. 答えない 2.5
 - 計 100.0
- (3) 自分の家の前の清掃に責任をもつ運動
 - 1. おおいに参加する 35.8%
 - 2. 参加する 51.5
 - 3. 参加しない 2.5
 - 4. わからない 7.9
 - 5. 答えない 2.3
 - 計 100.0
- (4) もったいない運動(ムダ排除・廃物活用など)
 - 1. おおいに参加する 27.8%
 - 2. 参加する 49.3
 - 3. 参加しない 3.9
 - 4. わからない 15.6
 - 5. 答えない 3.4
 - 計 100.0

自然食品(みそづくりなど)の普及

市では去る46年から、自然食品の普及の一環として市民のみなさんに、みそづくりをおすすめしています。今年4万世帯を目標にして講習会を行なっていますが、あなたはこのような、みそづくりの普及を行なっていることをご存知ですか。

- 1. 知っている 91.7%
- 2. 知らない 8.0
- 3. 答えない 0.3
- 計 100.0

みそづくり普及のため「みそ会館」で講習会を開いていますが、あなた(ご家族も含めて)はこの講習会に参加されたことがありますか。

- 1. 参加した 37.1%
- 2. 参加したことがない 62.0
- 3. 答えない 0.9
- 計 100.0

市ではみそづくりやつけ物づくりなど自然食品の普及につとめていますが、あなたはこのことについてどうお思いですか。

- 1. おおいに普及すべきである 48.7%
- 2. 普及すべきである 36.9
- 3. 普及する必要はない 4.9
- 4. わからない 8.5
- 5. 答えない 1.0
- 計 100.0

みそづくり普及のため「みそ会館」で開いている講習会に、あなた(ご家族も含めて)は参加したと思われませんか。

- 1. 参加したい 67.5%
- 2. 参加したくない 12.1
- 3. わからない 19.3
- 4. 答えない 1.1
- 計 100.0

日本一住みよいまちづくり

市では日本一住みよいまちづくりをめざし、種々の施策を推進しています。特に「消火器を使わない消防」(予防消防)を推進してきました。その結果文字どおり、日本一(奈良市と同規模の都市の中で)火事の少ないまちとなりましたが、あなたはこのことをご存

知ですか。

- 1. 知っている 68.5%
- 2. 知らない 30.6
- 3. 答えない 0.9
- 計 100.0

市が交通事故を起こさないまちづくりとして、市民のみなさんに「積徳運転」(徳を積む運転)を呼びかけ、この運動を推進してきました。その結果、日本一(奈良市と同規模の都市の中で)交通事故の少ないまちになりました。あなたはこのことをご存知ですか。

- 1. 知っている 55.7%
- 2. 知らない 43.4
- 3. 答えない 0.9
- 計 100.0

市では、日本一住みよいまちづくりをめざし「やすらぎと夢のある道義のまちづくり」行政を推進しています。あなたは、より住みよいまちづくりのために、市政にどのようなことを望まれますか。(3つ選択)

- 1. ゴミ処理対策 39.3% (12.1%)
- 2. 防火・防災対策 17.0 (5.2)
- 3. 交通安全対策 32.9 (10.1)
- 4. 社会福祉対策 39.6 (12.2)
- 5. 自然保護対策 36.5 (11.2)
- 6. 上水道対策 12.5 (3.9)
- 7. 幼児教育対策 11.4 (3.5)
- 8. 生涯教育対策 10.4 (3.2)
- 9. スポーツ振興対策 7.0 (2.1)
- 10. 消費者保護対策 28.7 (8.9)
- 11. 環境整備対策 19.3 (6.0)
- 12. 河川浄化対策 16.8 (5.2)
- 13. 道路整備対策 25.7 (7.9)
- 14. 公害排除対策 22.6 (7.0)
- 15. その他 2.3 (0.7)
- 16. わからない 2.0 (0.6)
- 17. 答えない 0.8 (0.2)
- 計 324.8 (100.0)

でもらいました。その結果、最も大きく希望されている施策のグループは「社会福祉対策」39・6%、「ゴミ処理対策」39・3%、「自然保護対策」36・5%、交通安全対策 32・9%、生涯教育対策 10・4%、スポーツ振興対策 7・0%、その他 2・3%となっており、前年調査とは大分趣きが変わっています。前年調査でトップの50・6%を占めていた「消費者保護対策」は第五位の28・7%に退いたのは顕著な変化で、石油ショックに始まる狂乱物価がようやく落ち着きを見せた一年後の意識の変動を如実に示しているといえるでしょう。「社会福祉」「自然保護」への要望(四十九年調査では各43・7%)もいずれも幾分

加するかどうかかわからない」となっています。市では五十年一度四万世帯、五十一年度も同じ程度の目標を予定している。この目標を達成するには、市民の参加が一ばん多く46・3%を占め、もう一歩突っ込んで、みそづくり参加の意思を確かめると、「参加したい」と答えた人は67・5%もあり、「参加したくない」は12・1%、その他の多くは「参加する」か「参加しない」の中間に位置しています。これは、さすがによく浸透し、91・7%の人が知っており、四十九年調査時の82・5%をはるかに上回り、「知らない」はわずかに8・0%に過ぎませんでした。やはり女性の方がよく知り94・9%と高率ですが、男性でも88・1%と驚くほどの周知度を示しました。男性二十代が一ばん低かったが、それでも76・0%、三十・四十代は88%台、五十歳以上は93%を上回り、女性になると各年代とも90%以上で、とくに四十代は98・6%と最高の率。

たずねましたが、「知っている」は68・5%で、「知らない」は30・6%でした。これは四十九年調査時とほぼ同じ比率となっています。

日本一交通事故の少ないまち 交通事故を少なくし安心して住めるまちづくりへの一環として「積徳運転」を呼びかけ、その結果、これも日本一



春日大社本殿に放水する消防隊

法隆寺炎上の愚を二度と繰り返さぬために設けられた文化財防火週間も今年で二十二回目。一月二十三日からの週間中、奈良市消防本部は市内七十六に及ぶ指定重要文化財以上の関係社寺について数々の点検や防火訓練を実施した。

本殿出火のサイレンを台図

春日大社で 消防総合訓練 文化財を守る

に、はかま姿の春日大社自衛消防隊三十二人が、本殿の屋根にとりつけられたドレンジャー（自動放水装置）を開放し、放水銃や消火せんからまず初期消火。六分後にかけてつめた中消防署の消防車三台が勢いよく放水、朱塗りの本殿はたちまち水幕につつまれ、折から参拝の観光客は遠巻きにしてこの訓練を見つめた。そのテキパキとした活動に「さすが日本一の消防」とたたえていました。



剣道寒げいこ

—早朝の気合い—

「エイッ、ヤー」。冷えこみのきびしい早朝、市中央武道場いっばいに剣士たちの鋭い気合いがひろがる。市武道振興会と市教育委員会共催の第三回奈良市剣道寒げいこが一月十六日から三日間毎朝六時から市中央武道場で開かれました。

初日の十六日は零下五度とことし一番の冷えこみを記録しましたが、女性剣士十一人を含む二百人が元気に参加。

けいこに先立って市剣道連盟名誉会長の鍵田市長が「寒げいこは精神力を養うために行なうもので、だれにも負けない気概をつちかい、仕事や学業に励んでもらいたい」とあいさつ。つづいて小林市議会議長が励ましの言葉を述べました。

けいこは鍵田市長はじめ多数の指導員の指導で打ち込み、切返しなどの基本動作からかかりげいこ、相互げいこ

など気迫のこもった各種けいこを続け、一時間にわたって汗を流しました。

三日間の参加者は延べ七百五十人で、最終日には西大寺新町の自宅から明けやらぬ道を一時半ばかり歩いて道場に通り、三日連続一番乗りをはたした西大寺北小五年山口忠則君に鍵田市長から真新しい木刀がごほうびとして贈られました。写真写真は気合いのこもる寒げいこ

手続きは印鑑、加入年金の記号番号のわかるもの、昭和四十九年中の所得のわかる書類（源泉徴収票など）を持って、福祉第二課婦人児童係（紀寺町、電話六五〇四番）ですませてください。

なお、この児童手当額は二月分払分から従来の四千円が五千円に引き上げられます。

清掃工場排水は公害の心配ない

昨年十一月、新聞に市清掃工場がカドミウムなどを含んだ排水を近くの鹿川へ流しているとの記事が出ていましたが、大丈夫でしょうか。

（奈良阪町、一市民）

おこたえ 市清掃工場では処理済みの汚水は一日約八割、これを工場外の鹿川に放流しております。この中に含まれている公害の要素となる重金属等につき県工業試験場で検査してもらった結果、つぎのとおり水質汚濁防止法に定められた基準値よりはるかに低く、被害を与える心配はありません。（清掃工場）

川に放流しております。この中に含まれている公害の要素となる重金属等につき県工業試験場で検査してもらった結果、つぎのとおり水質汚濁防止法に定められた基準値よりはるかに低く、被害を与える心配はありません。（清掃工場）

おこたえ 市清掃工場では処理済みの汚水は一日約八割、これを工場外の鹿川に放流しております。この中に含まれている公害の要素となる重金属等につき県工業試験場で検査してもらった結果、つぎのとおり水質汚濁防止法に定められた基準値よりはるかに低く、被害を与える心配はありません。（清掃工場）

合併20周年を祝う

富雄地区

富雄地区の奈良市合併二十周年記念式典が一月十八日午前十時から富雄中学校で関係者約五百五十人が出席して開かれました。地元代表の中山栄馬富雄北地区自治連合会長のあいさつのおと、鍵田市長が「この機会に町の歴史をしのび、将来の地区発展のための基礎づくりをしてほしい」と

無報酬で市政にご協力いただいてありがとうございます。

自治会の活動として、どの自治会も町内の親和、町内の福祉の向上を目的に行なわれて

感謝状を受けた方々

（順不同・敬称略）

自治会自治連合会会長退任者】中井宗一（狭川）▽上村増太郎（伏見）▽坂本浩志（富雄南）▽松岡博規（解解）▽羽瀧清夫（鳥見）▽森田茂夫（登美ヶ丘）▽井村保太郎（金城）▽大西規矩夫（大安寺）▽廣瀬岩一（辰市）

国の児童手当申請手続きを

国の児童手当の申請がまだの人はすぐ手続きをして下さい。申請できるのは、十八歳未満の児童を三人以上（うち一人以上が中学卒業前の児童）養育している人で、つぎの要件を満たしている人です。

青年ボランティアを組織化

15日、協議会結成大会

青年男女が余暇を利用して活動を組織化することになり、二月十五日（日）午前九時から市勤労青少年ホーム

青年ボランティアを組織化

15日、協議会結成大会

青年男女が余暇を利用して活動を組織化することになり、二月十五日（日）午前九時から市勤労青少年ホーム

青年ボランティアを組織化

15日、協議会結成大会

青年男女が余暇を利用して活動を組織化することになり、二月十五日（日）午前九時から市勤労青少年ホーム

自治会長感謝状贈呈式

奈良市自治会（垣内藤一郎会長、六百九十二町、七百二十九自治会）の五十一年度新年総会を兼ね感謝状贈呈式が一月二十日市庁舎別館で開かれ、町内自治会長五百人が出席しました。

まず鍵田市長が別項のようなあいさつを述べたあと、自治会長としてコミュニティづくりにご貢献したつぎの二百六十四人に感謝状を贈りました。このあと来賓として小林市議会議長らのお祝いのことばを受け、公共奉仕への新しい自治会のあり方を考え合いました。

鍵田市長あいさつ（要旨）

みなさん方は、日々献身的に

友好の年賀状

奈良市と友好・姉妹都市である外の中国・西安市王林、スペイン・レド市ビバル、韓国・慶州市朴宰煥三市長から鍵田市長あてにことしも年賀状が送られてきました。

友好の年賀状

奈良市と友好・姉妹都市である外の中国・西安市王林、スペイン・レド市ビバル、韓国・慶州市朴宰煥三市長から鍵田市長あてにことしも年賀状が送られてきました。

友好の年賀状

奈良市と友好・姉妹都市である外の中国・西安市王林、スペイン・レド市ビバル、韓国・慶州市朴宰煥三市長から鍵田市長あてにことしも年賀状が送られてきました。

友好の年賀状

奈良市と友好・姉妹都市である外の中国・西安市王林、スペイン・レド市ビバル、韓国・慶州市朴宰煥三市長から鍵田市長あてにことしも年賀状が送られてきました。

今が仕込み時

続いて申込んで下さい

講習会

立春を迎え草木の芽が動き出す時がおいしい「みそ」の仕込み時です。春先に温度があがるにつれて「みそ」が熟成していくからです。

自然食品「五徳みそ」づくりは、大宮・西部両みそ会館

健康メモ

寒さと妊婦の腎臓疾患
 厳しい寒さは腎臓に意外な負担をかけ、腎炎やネフローゼといった腎臓疾患はいつも一、二月のころがシーズンです。とくに妊娠中の婦人は腎臓負担が大きいだけに妊娠腎になりやすく、流産・死産・子癇などの危険にさらされます。そこで尿たんばく・血圧・体重の三つの検査を受けて妊娠中毒症の早期発見、早期治療に努め、無事安産できるように注意しましょう。

赤ちゃんの消化不良

ことしは悪性のインフルエンザがはやっています。引きつづいて立春を過ぎるころは気候の変化で、またかぜを引きやすくなります。このころは離乳期の赤ちゃん、とくに人工栄養児に消化不良・下痢・おう吐を起こすことが多くなります。このような症状は仮性コレラという恐れな名がつけられたりします。赤ちゃんが吐いたり、下痢したり、黄白色の便をしたらすぐに医師にみてもらい、早く手当てをしてください。

ツ反応検査とBCG接種

結核を予防するためツベルクリン反応検査とBCG接種をつぎの日程で行ないます。結核予防法の一部改正で、今年度から生後6カ月～3歳の子に1回ツベルクリン反応検査を行ない、陰性の子にBCG接種をすることになりました。

4歳以上になると個人で受けてもらわなければなりません。4歳未満でまだ1回もうけたことのない子には必ず受けさせてください。費用はいりません。あらためて通知はしませんから、該当児は直接もよりの会場へ連れて来ててください。母子手帳とスリッパをお忘れなく。

月	日	時間	場所	校 区
2.18 (水)	2.20 (金)	2:00~3:00 2:00~3:00	辰富市小学校 南小学校	市南
2.23 (月)	2.25 (水)	2:00~3:00 2:00~3:00	佐保小学校 保美小学校	保美
2.25 (水)	2.27 (金)	2:00~3:30 2:00~3:00	伏見小学校 跡部小学校	見北 寺跡
3.1 (月)	3.3 (水)	2:00~3:00 2:00~3:00	あやめ池小学校 大安寺小学校	池北 あやめ池
3.2 (火)	3.4 (木)	2:00~3:30 2:00~2:30 3:00~3:30	奈良県センター 精華小学校 精華小学校	和歌山 精華
3.3 (水)	3.5 (金)	2:00~3:30 2:00~3:00	鳥見小学校 鳥見小学校	見北 鳥見
3.8 (月)	3.10 (水)	2:00~3:00 2:00~3:00	阪飛小学校 阪飛小学校	阪飛
3.9 (火)	3.11 (木)	2:00~3:00 2:00~3:00	右京小学校 右京小学校	京西北 右京
3.10 (水)	3.12 (金)	2:00~3:00 2:00~2:30 3:00~3:30	三明南小学校 三明南小学校	宮治 三明南
3.15 (月)	3.17 (水)	2:00~3:00 2:00~3:00	六市小学校 六市小学校	六市
3.16 (火)	3.18 (木)	2:00~2:30 3:00~3:30 2:00~2:30 3:00~3:30	大柳東小学校 大柳東小学校	生川 大柳東

子ども会でスキーツアー

子ども会育成連絡協議会では初めてのスキーツアーを企画しています。スキーの要領で行ないます。参加費は、定員1親子あわせて先着六十人、参加料1親子五百円、子三百円、持ち物1親子五百円、水筒、手袋、タオル、雨具、アイゼンまたは荒なわ、食器(おわん一人一人)など。集合場所は当日午前八時同会館前(雨天中止)。参加希望者は電話で水曜日以外の午後同会館(電話七〇三七番)へ。

親子で冬山楽しむ

22日、葛城山へ
 市青少年児童会館の「親子の冬山」が二月二十二日(日)に葛城山で開かれます。参加できるのは小学三年生から六年生までの児童とその保護者です。参加費は、親子一組、三〇〇円(二、三〇〇円)です。申し込みは、葛城山で開かれます。参加費は、親子一組、三〇〇円(二、三〇〇円)です。申し込みは、葛城山で開かれます。

作品展開く

三周年記念に
 富雄公民館(市内鳥見町二丁目、電話五三三八番)では、開館三周年記念事業として、二月二十三日午前十時記念式をあげ、二十五日午後五時まで各教室(茶室・七宝焼・造花など)の学習発表として作品展を開催します。

業者公認申請

水道給水工事
 市水道給水工事公認業者の昭和五十一年度公認申請を二月一日から二月二十八日まで水道局総務課で受け付けます。公認を受ける人は、つぎの書類をそろえて水道局総務課(市内東寺林町三八番)へ提出してください。

下水道処理区

域へ一六四戸
 市の下水道事業がすすみ、一月十四日からつぎの各町の一部、計百六十四戸で浄化槽のいらない水洗便所が使えるようになりました。これまでの分をあわせて一万五千八百四十八戸が下水道の恩恵を受けることになりました。

姉妹都市小浜市

物産と観光展
 奈良市と姉妹都市である小浜市の「物産と観光展」が今年も二月十三日(日)から十五日(火)まで開かれます。毎年市民に好評を得て今年で六回目。会場は市内橋本町の県商工観光館で開かれます。

家族計画教室

フツ素塗布
 歯は健康の要です。むし歯は早いうちに見つけて治療することが必要です。むし歯は、むし歯菌が歯の隙間にたまり、歯を溶かすからです。むし歯予防のため、市では市歯科医師会の協力を得て、つぎのとおり三月下旬にフツ素塗布を行います。

食生活講習会

毛糸手編みの技術教室
 奈良保健所では、母性保護のための「家族計画教室」を二月十八日午後一時三十分、三月三十分、西奈良保健センター(登美ヶ丘二丁目、電話五九一一番)で開きます。

所得税確定申告説明会

交通事故の無料相談所
 市税務部市民税課と奈良税務署では、昭和五十年分所得税の確定申告説明会をつぎのように開きます。

自治振興課の電話番号かわる

市自治振興課の直通電話番号が二月一日から七〇三二番(旧〇二一八五番)に変わりました。

13日、商工会議所大ホールで

食生活講習会
 最近さまざまな食品が豊富に出まわり、食生活も多様化・高度化しています。同時に食品の安全、表示、保存などに多くの問題が出ています。市生活安定課では、これらの問題へのアプローチとして河野食品研究室代表の河野友美氏を講師に「これからの食生活を考える」というテーマで講習会をつぎのとおり開催します。